

あつべっ

なんでも

イチバン

北海道立  
札幌東商業高校  
珠算部

そろばんでする計算のことを珠算と言います、手軽な道具で素早く計算を行うことができるため広く普及しました。仕事や勉強に欠かせない技術でしたので、多くの人が学びましたが、電卓の普及により、一般的にはあまり使われないようになりました。

しかし、商業高校の伝統を受け継ぎ、部活動として熱心に取り組んでいるのが、北海道立札幌東商業高校珠算部の皆さんです。同校は、厚別副都心に近い厚別中央三条五丁目にあり、流通経済、国際経済、会計ビジネス、情報処理の四学科を開設し、専門性を身に付ける教育を入れています。珠算部は、創部四十年の歴史を持ち、この十年間ほどは全国大会で何度も優勝し



厳しい練習に打ち込みます。



珠算部の皆さんと、部員の活動を支える顧問の藤田和秀先生。来年以降の活動に向けて、新たな仲間が加わることが期待されます。

た強豪です。部員たちは、実力を培うため、日々の練習に加えて合宿で鍛えるなど活発な活動をしています。今年も北海道予選大会を勝ち抜き、七月三十日に三重県で開催された「第五十一回全国高等学校珠算競技大会(百二十八校三百一人参加)」に出場。団体二等、個人総合競技でも二等の二人を含む四人が入賞という素晴らしい成績を残しました。部長の川崎奈月さんはじめ三年生部員たちは「最後の大会で優勝できなかったことは悔しいけど、三年間、一生懸命練習して、とても充実していました。」と力強く話します。目標に向かって努力したことへの自信があふれています。

## 区役所掲示板

9月1日から

厚別区子ども会サポーターの募集が

始まりました

子ども会は、小学生を中心に、幼児から高校生までが参加して活動するグループです。区内には四十一の子ども会があり、約四千人が加入して、行事を中心とした活動をしています。

### ■大人の支えが必要です

子ども会は文字通り子どもの集団ですが、保護者や地域の大人が「育成者」として支え指導しています。野外キャンプ、スポーツ大会、お楽しみ会などの年間行事では、育成者が指導に当たりますが、子どもたちにとって、育成者以外にも大人とのかかわりがたくさんあることが、数多くのことを学ぶチャンスが増えることにつながります。

### ■子ども会サポーター

子ども会サポーターは育成者とは別に、自分の特技を生かして子どもに知識や技術を教える、行事に参加しながら仲間同士の接し方や集団行動のあり方などを子どもたちに伝える役割を担っていたり、くものです。例えば、植物や昆虫の知識、地域の昔の様子、スポーツ、遊び、礼儀、マナーなど、なんでも対象になります。

### ■登録の方法

厚別区にお住まいの18歳以上の方ならどなたでも登録できます。登録は、直接または電話で行います。申込先 子ども会育成連合会厚別区事務局(厚別区厚別中

央1条5丁目 厚別区民センター1階)  
☎(891)80008

### ■登録後の活動

登録したサポーターと育成連合会事務局の間で、活動の内容及場所、時期を相談して決めます。行事のときだけではなく、日ごろの子どもたちへの見守りにつながるよう、なるべくお住まいの地域での活動を想定しています。子ども会を通じて、子どもたちと接してみたい、遊んでみたいという方。皆さんの応募をお待ちしています。

### ■お問い合わせ

札幌市子ども会育成連合会  
厚別区事務局  
地域振興課地域活動係  
☎(895)2400 内線505